

# 週間漁海況情報—第37号

平成23年9月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.9.12）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道及び海部沿岸で26～27℃台である。

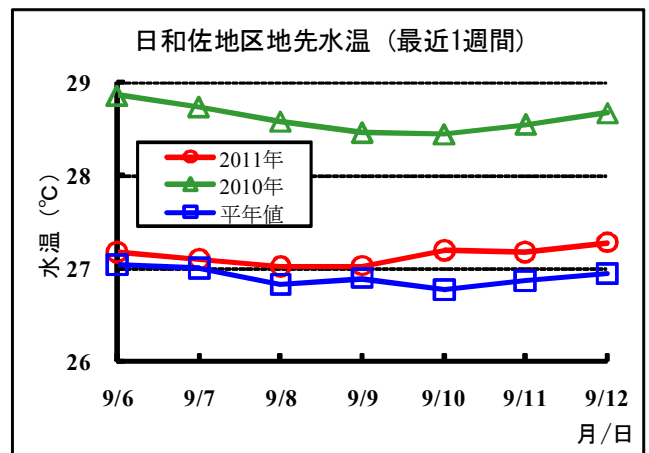
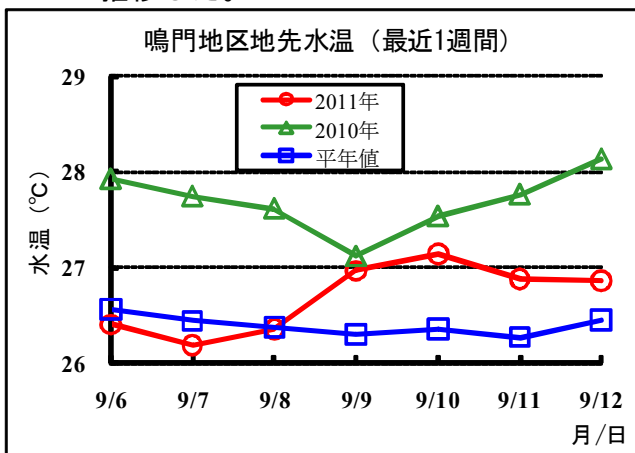
紀伊水道外域では、和歌山県側から暖水流入があり、その先端が紀伊水道内に達している。海部沿岸下灘の岸寄りでは、26℃前半とやや低温の内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」が9月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～10m層で「平年並み」の26.7～27.1℃、20m～30m層で「やや高め」の26.4～26.6℃であった。

### 播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
9/7	今年値	27.1	26.7	26.6	26.4	29.6	30.6	30.9	31.3
	平年偏差	-0.1	0.2	0.5	0.8	-2.1	-1.2	-0.9	-0.6
	前年偏差	-1.5	-0.9	0.0	1.1	-1.9	-0.9	-0.7	-0.3

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の26.2～27.2℃、日和佐地区で「平年並み」の27.0～27.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の27.1～28.0℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でカワハギが0.3トン（1日1隻当たり50kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で中主体にアカカマスが1.1トン（同127kg）、小小主体にカマス類が0.4トン（同16kg）、大主体にゴマサバが4.2トン（同263kg）、小主体にヒラソウダが0.2トン（同16kg）、マメ・小主体にマアジが8.6トン（同329kg）、マルソウダが0.9トン（同22kg）、ヤマトカマスが0.3トン（同51kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で特大主体にタチウオが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月5日～9月11日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	6	299	50	
小型定置網		アカカマス	9	1,144	127	中主体
		カマス類	23	361	16	小小主体
		ゴマサバ	16	4,205	263	大主体
		ヒラソウダ	13	205	16	小主体
		マアジ	26	8,566	329	マメ・小主体
		マルソウダ	40	883	22	
		ヤマトカマス	5	256	51	
釣り		タチウオ	31	203	7	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の26℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の27℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年9月6日～9月12日の海部沿岸では、小型定置網でアオリイカが0.2トン、小小主体にカマス類が1.2トン、ヒラソウダが0.3トン、小主体にゴマサバが0.8トン、マルソウダが0.1トン、釣りでイサキが0.1トン、メジロが0.1トン水揚げされていた。紀伊水道では、釣りでサワラが2.7トン、タチウオが0.4トン、パッチ網でシラスが42.4トン水揚げされていた。